

水辺に親しもう



安室川 (安室ダム)

ダム湖畔の散策で心身ともにリフレッシュ。ダムに注ぐ谷川のせせらぎに触れたり、遊具広場で遊んだり、家族連れに最適です。



鞍居川 (野桑親水護岸)

川に住む生き物にやさしい護岸整備がされています。自然環境が豊かで大杉野川や尾長谷付近でもたくさんのホテルが見られました。



千種川 (與井新河川敷)

與井新河川敷が芝生広場に整備。川に向かってゆったりとくつろいでみては。「ただし、出したゴミは必ず持ち帰ってくださいね。」

上郡大橋と隈見橋間の千種川左岸の河川敷地、約16,000㎡を親水広場として平成7年度から整備したもので、事業費は、1億2千万円。
広場は、1周650m、幅2~3mのカラー園路で囲まれ、子どもたちが遊べるスプリング遊具5基が置かれているふれあい広場のほか、多目的に利用できる広場やグラウンドがあります。河川土手にも、芝が新しく張られ、中央付近には、100mの幅で階段が設けられています。広場を利用するための車の乗り入れは上郡大橋側に1ヶ所で、駐車スペースがあります。

親水広場の概要



生き物にやさしい親水護岸

階段ベンチは格好の夕涼み台



芝生広場とジョギングコース



「川の都」づくりのシンボル拠点『千種川親水広場』が完成

上郡らしさを推し進める

「川の都」づくり

「川の都」づくりとは

平成8年6月に「第3次上郡町総合計画」が策定されました。その中で当町の将来像の指針のひとつに、「山と川の自然的魅力と都市的魅力を融合するまち」があります。

これは、「上郡らしさ」を表現し、住民参画による再認識を進めることを位置づけたものです。ここには、総合計画の策定前に、住民の皆さまにご協力いただいたアンケートにより、上郡町のイメージで「自然の豊かさ」、具体的に「千種川」との回答が一番多く、その意向が反映されています。千種川は全国名水百選に選ばれ、水と暮らしの関わりも深く、その啓発と保全が顕彰された「水の郷」指定などを受けており、河川整備、拠点緑化整備、公園整備等の手法をもって、一体的に「川の都」づくりが進められています。

水辺に親しむ憩いの場にご利用ください

このたび、川の都づくりのシンボル拠点となる「千種川親水広場」が、役場向かい河川敷に完成しました。

上郡大橋から隈見橋約500mの間が親水広場として整備されたもので、芝生の緑と親水護岸、そして千種川の流れとならかな山々が調和したすばらしい景観をみせています。ジョギングや散歩などの憩いの場、また各種イベントに活用など、水辺に親しむやすらぎの場となるよう期待されています。

また、旧役場庁舎跡地も拠点緑化事業に位置づけられ、現在整備計画の策定が協議されています。親水広場と一体的に利用するとともに、播磨科学公園都市への玄関口にあつて、シンボルポイントとなります。